

誤	正	該当項	備考
<p>② 請負工事の工事費構成</p> <p>1. 工事費の積算価格構成</p> <pre> graph LR     A[請負工事] --- B[工事価格]     A --- C[消費税等相当]     B --- D[工事原価]     B --- E[一般管理費等]     D --- F[直接工事]     D --- G[間接工事]     F --- H[労務費(除雪待機補償費含む)]     F --- I[材料費]     F --- J[直接経費]     J --- K[特許使用]     J --- L[水道光熱電力料]     J --- M[機械経費]     G --- N[運搬費]     G --- O[準備費]     G --- P[共通仮設費]     P --- Q[事業損失防止施設費]     G --- R[安全費]     G --- S[役務費]     G --- T[技術管理費]     G --- U[営繕費]     G --- V[現場管理費]     G --- W[現場環境改善費**]     H --- X[純工事費]     I --- X     J --- X     K --- X     L --- X     M --- X     N --- X     O --- X     P --- X     Q --- X     R --- X     S --- X     T --- X     U --- X     V --- X     W --- X     </pre> <p>※ただし、空港維持工事では適用外</p>	<p>② 請負工事の工事費の構成</p> <p>1. 工事費の積算価格構成</p> <pre> graph LR     A[請負工事費] --- B[工事価格]     A --- C[消費税等相当額]     B --- D[工事原価]     B --- E[一般管理費等]     D --- F[直接工事費]     D --- G[間接工事費]     F --- H[労務費(除雪待機補償費含む)]     F --- I[材料費]     F --- J[直接経費]     J --- K[特許使用料]     J --- L[水道光熱電力料]     J --- M[機械経費]     G --- N[運搬費]     G --- O[準備費]     G --- P[共通仮設費]     P --- Q[事業損失防止施設費]     G --- R[安全費]     G --- S[役務費]     G --- T[技術管理費]     G --- U[営繕費]     G --- V[現場管理費]     G --- W[現場環境改善費**]     H --- X[純工事費]     I --- X     J --- X     K --- X     L --- X     M --- X     N --- X     O --- X     P --- X     Q --- X     R --- X     S --- X     T --- X     U --- X     V --- X     W --- X     </pre> <p>※ただし、空港維持工事では適用外</p>	<p>1-1-2</p>	<p>記載の修正</p> <p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考
<p>2. 工事費の積算価格構成の項目</p> <p>2-1 直接工事費                      直接工事費は、工事の内容により工種、種別、細別及び名称に区分し、それぞれの区分毎に労務費、材料費及び直接経費を考慮し、「第2章 工事費の積算」の「①直接工事費」により積算するものとする。                      (1) 労務費（除雪工事においては、除雪待機補償費を含む）                      (2) 材料費                      (3) 直接経費                          1) 特許使用料                          2) 水道光熱電力料                          3) 機械経費</p> <p>2-2 間接工事費                      間接工事費は、直接工事費以外の工事費及び経費とし、共通仮設費及び現場管理費に区分し、積算するものとする。                      (1) 共通仮設費                      共通仮設費は、工事施工にあたって、工事目的物の施工に間接的に係る費用とし、「第2章 工事費の積算」の「②間接工事費 1. 共通仮設費」により構成する費目毎に積算するものとする。                          1) 運搬費                          2) 準備費                          3) 事業損失防止施設費                          4) 安全費                          5) 役務費                          6) 技術管理費                          7) 営繕費                          8) 現場環境改善費                      (2) 現場管理費                      現場管理費は、工事施工にあたって、工事を管理するために必要な共通仮設費以外の費用とし、「第2章 工事費の積算」の「②間接工事費 2. 現場管理費」により積算するものとする。</p> <p>2-3 一般管理費等                      一般管理費は、工事の施工にあたる企業の経営管理と活動に必要な本店及び支店における経費の一般管理費と企業の継続運営に必要な費用の付加利益とし、「第3章 一般管理費等」の「①一般管理費等」により積算するものとする。</p> <p>2-4 工事価格の端数処理                      工事価格は、10,000円単位とする。工事価格の10,000円単位での調整は、一般管理費等で行うものとし、一般管理費等の計算額より、端数処理前の工事価格の10,000円未満の金額を除いた額を計上するものとする。</p> <p>2-5 消費税等相当額                      消費税等相当額は、消費税及び地方消費税相当分を積算するものとする。</p> <p>3. 合併積算等                      設計業務、測量業務、地質・土質調査並びに、電気施設工事、照明施設工事、建築施設工事等との合併積算は、各々定められた積算基準に基づき別途に積算し、合算するものとする。</p>	<p>2. 工事費の積算価格構成の項目</p> <p>2-1 直接工事費                      直接工事費は、工事の内容により工種、種別、細別及び名称に区分し、それぞれの区分毎に労務費、材料費及び直接経費を考慮し、「第2章 工事費の積算」の「①直接工事費」により積算するものとする。                      (1) 労務費（除雪工事においては、除雪待機補償費を含む）                      (2) 材料費                      (3) 直接経費                          1) 特許使用料                          2) 水道光熱電力料                          3) 機械経費</p> <p>2-2 間接工事費                      間接工事費は、直接工事費以外の工事費及び経費とし、共通仮設費及び現場管理費に区分し、積算するものとする。                      (1) 共通仮設費                      共通仮設費は、工事施工にあたって、工事目的物の施工に間接的に係る費用とし、「第2章 工事費の積算」の「②間接工事費 1. 共通仮設費」により構成する費目毎に積算するものとする。                          1) 運搬費                          2) 準備費                          3) 事業損失防止施設費                          4) 安全費                          5) 役務費                          6) 技術管理費                          7) 営繕費                          8) 現場環境改善費                      (2) 現場管理費                      現場管理費は、工事施工にあたって、工事を管理するために必要な共通仮設費以外の費用とし、「第2章 工事費の積算」の「②間接工事費 2. 現場管理費」により積算するものとする。</p> <p>2-3 一般管理費等                      一般管理費等は、工事の施工にあたる企業の経営管理と活動に必要な本店及び支店における経費の一般管理費と企業の継続運営に必要な費用の付加利益とし、「第3章 一般管理費等」の「①一般管理費等」により積算するものとする。</p> <p>2-4 工事価格の端数処理                      工事価格は、10,000円単位とする。工事価格の10,000円単位での調整は、一般管理費等で行うものとし、一般管理費等の計算額より、端数処理前の工事価格の10,000円未満の金額を除いた額を計上するものとする。</p> <p>2-5 消費税等相当額                      消費税等相当額は、消費税及び地方消費税相当分を積算するものとする。</p> <p>3. 合併積算等                      設計業務、測量業務、地質・土質調査並びに、電気施設工事、照明施設工事、建築施設工事等との合併積算は、各々定められた積算基準に基づき別途に積算し、合算するものとする。</p>	<p>1-1-3</p>	<p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考
<p>3. 運転労務適用職種一覧</p> <p>機械運転単価表は、土木工事標準積算基準書 第I編 総則 第6章 建設機械運転労務等 ④ 一般事項を準用する。</p>	<p>3. 運転労務適用職種一覧</p> <p>運転労務適用職種一覧は、土木工事標準積算基準書 第I編 総則 第6章 建設機械運転労務等 ④ 一般事項を準用する。</p>	<p>1-5-5</p>	<p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考
<p>2. 増加費用の算定</p> <p>2-1 増加費用の構成</p> <p>工期延長等に伴う現場維持等に要する費用は、工事原価内の間接工事費の中で計上し、一般管理費等の対象とする。</p> <p>※ 工期延長等に伴う本支店における増加費用を含</p> <p>(注) 工期延長等に伴い発注者が新たに受取り対象とした材料、直接労務及び直接経費に係る費用は、該当する工種に追加計上し、設計変更により処理するものとする。</p> <p>増加費用は、原則、工事目的物又は仮設に係る工事の施工着手を対象に算定することとし、工期延長等の期間が3ヶ月以内は以下の通りとする。ただし、工期延長等の期間が3ヶ月を超える場合等は、別途考慮すること。</p> <p>2-2 工期延長等に伴う現場維持等に要する費用</p> <p>(1) 標準積算により算定する場合、工期延長等に伴う現場維持等に要する費用として積算する内容は以下の積上げ項目及び率項目とする。</p> <p>1) 増加費用の構成費目は、次のとおりとする。</p> <p>※積上げ項目</p>	<p>2. 増加費用の算定</p> <p>2-1 増加費用の構成</p> <p>工期延長等に伴う現場維持等に要する費用は、工事原価内の間接工事費の中で計上し、一般管理費等の対象とする。</p> <p>※ 工期延長等に伴う本支店における増加費用を含む</p> <p>(注) 工期延長等に伴い発注者が新たに受取り対象とした材料、直接労務及び直接経費に係る費用は、該当する工種に追加計上し、設計変更により処理するものとする。</p> <p>増加費用は、原則、工事目的物又は仮設に係る工事の施工着手を対象に算定することとし、工期延長等の期間が3ヶ月以内は以下の通りとする。ただし、工期延長等の期間が3ヶ月を超える場合等は、別途考慮すること。</p> <p>2-2 工期延長等に伴う現場維持等に要する費用</p> <p>(1) 標準積算により算定する場合、工期延長等に伴う現場維持等に要する費用として積算する内容は以下の積上げ項目及び率項目とする。</p> <p>1) 増加費用の構成費目は、次のとおりとする。</p> <p>※積上げ項目</p>	<p>1-8-3</p>	<p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考																																																																																																										
<p>(2) 算定方法                      工期延長等に伴う現場維持等に要する費用の算定は、下記により算出する。  <math>G = dg \times J + \alpha</math>                      ただし、                      G：工期延長等に伴う現場維持等の費用（単位 円 1,000 円未満切り捨て）                      dg：工期延長等に係る現場経費率（% 小数第4位四捨五入し、第3位とする）                      J：対象額（工期延長等時点の契約上の純工事費）                      （単位：円 1,000 円未満切捨て）                      α：積上げ費用（単位：円 1,000 円未満切捨て）</p> <p>1) 工期延長等に伴い増加する現場経費率</p> $dg = A \left\{ \left( \frac{J}{a \times J^b + N} \right)^B - \left( \frac{J}{a \times J^b} \right)^B \right\} + \frac{(N \times R \times 100)}{J}$ <p>ただし、                      dg：工期延長等に伴い増加する現場経費率                      （% 小数点第4位四捨五入し、第3位とする）                      J：対象額（工期延長等時点の契約上の純工事費）                      （単位：円 1,000 円未満切捨て）                      N：工期延長等日数（受注者の責めに帰す場合は除く）（日）                      ただし、部分中止の場合は、部分中止に伴う工期延長等日数                      R：公共工事設計労務単価（土木一般世話役）                      A、B、a、b：工種毎に決まる係数（表-1）</p> <p>表-1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">工種区分</th> <th colspan="5">係数A</th> <th colspan="5">係数B</th> <th rowspan="3">係数a</th> <th rowspan="3">係数b</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">大都市</th> <th rowspan="2">市街地</th> <th rowspan="2">山間僻地 離島</th> <th colspan="2">地方部</th> <th rowspan="2">大都市</th> <th rowspan="2">市街地</th> <th rowspan="2">山間僻地 離島</th> <th colspan="2">地方部</th> </tr> <tr> <th>交通 影響なし</th> <th>交通 影響有り</th> <th>交通 影響なし</th> <th>交通 影響有り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空港用地造成工事</td> <td>154.3</td> <td>138.5</td> <td>194.2</td> <td>112.6</td> <td>241.0</td> <td>-0.0929</td> <td>-0.0947</td> <td>-0.1284</td> <td>-0.0938</td> <td>-0.1414</td> <td>4.4794</td> <td>0.2126</td> </tr> <tr> <td>空港舗装工事</td> <td>672.8</td> <td>596.1</td> <td>423.8</td> <td>488.0</td> <td>390.7</td> <td>-0.2193</td> <td>-0.2196</td> <td>-0.2054</td> <td>-0.2195</td> <td>-0.1970</td> <td>0.5918</td> <td>0.3113</td> </tr> </tbody> </table>	工種区分	係数A					係数B					係数a	係数b	大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部		大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部		交通 影響なし	交通 影響有り	交通 影響なし	交通 影響有り	空港用地造成工事	154.3	138.5	194.2	112.6	241.0	-0.0929	-0.0947	-0.1284	-0.0938	-0.1414	4.4794	0.2126	空港舗装工事	672.8	596.1	423.8	488.0	390.7	-0.2193	-0.2196	-0.2054	-0.2195	-0.1970	0.5918	0.3113	<p>(2) 算定方法                      工期延長等に伴う現場維持等に要する費用の算定は、下記により算出する。  <math>G = dg \times J + \alpha</math>                      ただし、                      G：工期延長等に伴う現場維持等の費用（単位 円 1,000 円未満切り捨て）                      dg：工期延長等に係る現場経費率（% 小数第4位四捨五入し、第3位とする。）                      J：対象額（工期延長等時点の契約上の純工事費）                      （単位：円 1,000 円未満切捨て）                      α：積上げ費用（単位：円 1,000 円未満切捨て）</p> <p>1) 工期延長等に伴い増加する現場経費率</p> $dg = A \left\{ \left( \frac{J}{a \times J^b + N} \right)^B - \left( \frac{J}{a \times J^b} \right)^B \right\} + \frac{(N \times R \times 100)}{J}$ <p>ただし、                      dg：工期延長等に伴い増加する現場経費率                      （% 小数点第4位四捨五入し、第3位とする。）                      J：対象額（工期延長等時点の契約上の純工事費）                      （単位：円 1,000 円未満切捨て）                      N：工期延長等日数（受注者の責めに帰す場合は除く）（日）                      ただし、部分中止の場合は、部分中止に伴う工期延長等日数                      R：公共工事設計労務単価（土木一般世話役）                      A、B、a、b：工種毎に決まる係数（表-1）</p> <p>表-1</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">工種区分</th> <th colspan="5">係数A</th> <th colspan="5">係数B</th> <th rowspan="3">係数a</th> <th rowspan="3">係数b</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">大都市</th> <th rowspan="2">市街地</th> <th rowspan="2">山間僻地 離島</th> <th colspan="2">地方部</th> <th rowspan="2">大都市</th> <th rowspan="2">市街地</th> <th rowspan="2">山間僻地 離島</th> <th colspan="2">地方部</th> </tr> <tr> <th>交通 影響なし</th> <th>交通 影響有り</th> <th>交通 影響なし</th> <th>交通 影響有り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空港用地造成工事</td> <td>154.3</td> <td>138.5</td> <td>194.2</td> <td>112.6</td> <td>241.0</td> <td>-0.0929</td> <td>-0.0947</td> <td>-0.1284</td> <td>-0.0938</td> <td>-0.1414</td> <td>4.4794</td> <td>0.2126</td> </tr> <tr> <td>空港舗装工事</td> <td>672.8</td> <td>596.1</td> <td>423.8</td> <td>488.0</td> <td>390.7</td> <td>-0.2193</td> <td>-0.2196</td> <td>-0.2054</td> <td>-0.2195</td> <td>-0.1970</td> <td>0.5918</td> <td>0.3113</td> </tr> </tbody> </table>	工種区分	係数A					係数B					係数a	係数b	大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部		大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部		交通 影響なし	交通 影響有り	交通 影響なし	交通 影響有り	空港用地造成工事	154.3	138.5	194.2	112.6	241.0	-0.0929	-0.0947	-0.1284	-0.0938	-0.1414	4.4794	0.2126	空港舗装工事	672.8	596.1	423.8	488.0	390.7	-0.2193	-0.2196	-0.2054	-0.2195	-0.1970	0.5918	0.3113	<p>1-8-7</p> <p style="color: red;">記載の修正</p> <p style="color: red;">記載の修正</p>	
工種区分		係数A					係数B										係数a	係数b																																																																																											
		大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部		大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部																																																																																																			
	交通 影響なし				交通 影響有り	交通 影響なし				交通 影響有り																																																																																																			
空港用地造成工事	154.3	138.5	194.2	112.6	241.0	-0.0929	-0.0947	-0.1284	-0.0938	-0.1414	4.4794	0.2126																																																																																																	
空港舗装工事	672.8	596.1	423.8	488.0	390.7	-0.2193	-0.2196	-0.2054	-0.2195	-0.1970	0.5918	0.3113																																																																																																	
工種区分	係数A					係数B					係数a	係数b																																																																																																	
	大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部		大都市	市街地	山間僻地 離島	地方部																																																																																																				
				交通 影響なし	交通 影響有り				交通 影響なし	交通 影響有り																																																																																																			
空港用地造成工事	154.3	138.5	194.2	112.6	241.0	-0.0929	-0.0947	-0.1284	-0.0938	-0.1414	4.4794	0.2126																																																																																																	
空港舗装工事	672.8	596.1	423.8	488.0	390.7	-0.2193	-0.2196	-0.2054	-0.2195	-0.1970	0.5918	0.3113																																																																																																	

誤		正		該当項	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				1-11-3																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
工種名	設定内容	工種名	設定内容																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
散水車（空港）	① 散水車（空港） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路盤材種類</th> <th rowspan="2">片道距離区分</th> <th colspan="2">標準作業量</th> </tr> <tr> <th>(m<sup>2</sup>/h)</th> <th>(m<sup>2</sup>/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">砕石類</td> <td>5km未満</td> <td>1,424</td> <td>7,832</td> </tr> <tr> <td>5km以上10km未満</td> <td>1,048</td> <td>5,764</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ソイルセメント</td> <td>5km未満</td> <td>1,017</td> <td>5,594</td> </tr> <tr> <td>5km以上10km未満</td> <td>748</td> <td>4,114</td> </tr> </tbody> </table> 標準作業量(m <sup>2</sup> /日)：建設機械等損料表から求めたTを用いて算出。	路盤材種類	片道距離区分	標準作業量		(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)	砕石類	5km未満	1,424	7,832	5km以上10km未満	1,048	5,764	ソイルセメント	5km未満	1,017	5,594	5km以上10km未満	748	4,114	散水車（空港）                     ① 散水車（空港） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路盤材種類</th> <th rowspan="2">片道距離区分</th> <th colspan="2">標準作業量</th> </tr> <tr> <th>(m<sup>2</sup>/h)</th> <th>(m<sup>2</sup>/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">砕石類</td> <td>5km未満</td> <td>1,424</td> <td>7,832</td> </tr> <tr> <td>5km以上10km未満</td> <td>1,048</td> <td>5,764</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ソイルセメント</td> <td>5km未満</td> <td>1,017</td> <td>5,594</td> </tr> <tr> <td>5km以上10km未満</td> <td>748</td> <td>4,114</td> </tr> </tbody> </table> 標準作業量(m <sup>2</sup> /日)：建設機械等損料表から求めたTを用いて算出。	路盤材種類	片道距離区分	標準作業量		(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)	砕石類	5km未満	1,424	7,832	5km以上10km未満	1,048	5,764	ソイルセメント	5km未満	1,017	5,594	5km以上10km未満	748	4,114																																																																																																																																																																																																																																																														
路盤材種類	片道距離区分			標準作業量																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
砕石類	5km未満	1,424	7,832																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	5km以上10km未満	1,048	5,764																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ソイルセメント	5km未満	1,017	5,594																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	5km以上10km未満	748	4,114																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
路盤材種類	片道距離区分	標準作業量																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
砕石類	5km未満	1,424	7,832																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	5km以上10km未満	1,048	5,764																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
ソイルセメント	5km未満	1,017	5,594																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	5km以上10km未満	748	4,114																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
上層路盤（空港）	① 上層路盤（空港） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路盤材種別</th> <th rowspan="2">施工幅区分</th> <th rowspan="2">現場条件</th> <th colspan="2">敷均し (一層当り能力)</th> <th colspan="2">転圧 (一層当り能力)</th> <th colspan="2">転圧 (一層当り能力)</th> </tr> <tr> <th>(m<sup>2</sup>/h)</th> <th>(m<sup>2</sup>/日)</th> <th>(m<sup>2</sup>/h)</th> <th>(m<sup>2</sup>/日)</th> <th>(m<sup>2</sup>/h)</th> <th>(m<sup>2</sup>/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">砕石類・ソイルセメント</td> <td rowspan="4">4m以上</td> <td>標準工事</td> <td>621</td> <td>3,353</td> <td>332</td> <td>1,793</td> <td>630</td> <td>3,213</td> </tr> <tr> <td>拡幅工事</td> <td>518</td> <td>2,797</td> <td>注1 277</td> <td>1,496</td> <td>注2 525</td> <td>2,678</td> </tr> <tr> <td>夜間工事</td> <td>518</td> <td>2,797</td> <td>注1 277</td> <td>1,496</td> <td>注2 525</td> <td>2,678</td> </tr> <tr> <td>夜間拡幅工事</td> <td>414</td> <td>2,236</td> <td>注1 222</td> <td>1,199</td> <td>注2 420</td> <td>2,142</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2.5m以上 4m未満</td> <td>標準工事</td> <td>240</td> <td>1,200</td> <td>173</td> <td>744</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>拡幅工事</td> <td>200</td> <td>1,000</td> <td>144</td> <td>619</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>夜間工事</td> <td>200</td> <td>1,000</td> <td>144</td> <td>619</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>夜間拡幅工事</td> <td>160</td> <td>800</td> <td>115</td> <td>495</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">施工幅区分</td> <td rowspan="2">現場条件</td> <td colspan="2">敷均し (一層当り能力)</td> <td colspan="2">転圧 (一層当り能力)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(m<sup>3</sup>/日)</td> <td>(m<sup>3</sup>/日)</td> <td>(m<sup>2</sup>/h)</td> <td>(m<sup>2</sup>/日)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1m以上 2.5m未満</td> <td>標準工事</td> <td>2.5 m<sup>3</sup>/日</td> <td></td> <td>173</td> <td>744</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>拡幅工事</td> <td>2 m<sup>3</sup>/日</td> <td></td> <td>144</td> <td>619</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>夜間工事</td> <td>2 m<sup>3</sup>/日</td> <td></td> <td>144</td> <td>619</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>夜間拡幅工事</td> <td>1.67 m<sup>3</sup>/日</td> <td></td> <td>115</td> <td>495</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1m未満</td> <td>標準工事</td> <td>2.5 m<sup>3</sup>/日</td> <td></td> <td>36</td> <td>176</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>拡幅工事</td> <td>2 m<sup>3</sup>/日</td> <td></td> <td>30</td> <td>147</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>夜間工事</td> <td>2 m<sup>3</sup>/日</td> <td></td> <td>30</td> <td>147</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>夜間拡幅工事</td> <td>1.67 m<sup>3</sup>/日</td> <td></td> <td>24</td> <td>118</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> (注) 1. タイヤローラ運転質量8~20t 2. ロードローラ マカダム運転質量10~12t 3. 一層当りの最大仕上げ厚は10cm以上20cm以下とする。 一層当り能力(m <sup>2</sup> /日)：建設機械等損料表から求めたTを用いて算出。	路盤材種別	施工幅区分	現場条件	敷均し (一層当り能力)		転圧 (一層当り能力)		転圧 (一層当り能力)		(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)	(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)	(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)	砕石類・ソイルセメント	4m以上	標準工事	621	3,353	332	1,793	630	3,213	拡幅工事	518	2,797	注1 277	1,496	注2 525	2,678	夜間工事	518	2,797	注1 277	1,496	注2 525	2,678	夜間拡幅工事	414	2,236	注1 222	1,199	注2 420	2,142	2.5m以上 4m未満	標準工事	240	1,200	173	744	-		拡幅工事	200	1,000	144	619	-		夜間工事	200	1,000	144	619	-		夜間拡幅工事	160	800	115	495	-		施工幅区分	現場条件	敷均し (一層当り能力)		転圧 (一層当り能力)				(m <sup>3</sup> /日)	(m <sup>3</sup> /日)	(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)			1m以上 2.5m未満	標準工事	2.5 m <sup>3</sup> /日		173	744			拡幅工事	2 m <sup>3</sup> /日		144	619			夜間工事	2 m <sup>3</sup> /日		144	619			夜間拡幅工事	1.67 m <sup>3</sup> /日		115	495			1m未満	標準工事	2.5 m <sup>3</sup> /日		36	176			拡幅工事	2 m <sup>3</sup> /日		30	147			夜間工事	2 m <sup>3</sup> /日		30	147			夜間拡幅工事	1.67 m <sup>3</sup> /日		24	118			上層路盤（空港）                     ① 上層路盤（空港） <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">路盤材種別</th> <th rowspan="2">施工幅区分</th> <th rowspan="2">現場条件</th> <th colspan="2">敷均し (一層当り能力)</th> <th colspan="2">転圧 (一層当り能力)</th> <th colspan="2">転圧 (一層当り能力)</th> </tr> <tr> <th>(m<sup>2</sup>/h)</th> <th>(m<sup>2</sup>/日)</th> <th>(m<sup>2</sup>/h)</th> <th>(m<sup>2</sup>/日)</th> <th>(m<sup>2</sup>/h)</th> <th>(m<sup>2</sup>/日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">砕石類・ソイルセメント</td> <td rowspan="4">4m以上</td> <td>標準工事</td> <td>621</td> <td>3,353</td> <td>332</td> <td>1,793</td> <td>630</td> <td>3,213</td> </tr> <tr> <td>拡幅工事</td> <td>518</td> <td>2,797</td> <td>注1 277</td> <td>1,496</td> <td>注2 525</td> <td>2,678</td> </tr> <tr> <td>夜間工事</td> <td>518</td> <td>2,797</td> <td>注1 277</td> <td>1,496</td> <td>注2 525</td> <td>2,678</td> </tr> <tr> <td>夜間拡幅工事</td> <td>414</td> <td>2,236</td> <td>注1 222</td> <td>1,199</td> <td>注2 420</td> <td>2,142</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2.5m以上 4m未満</td> <td>標準工事</td> <td>240</td> <td>1,200</td> <td>173</td> <td>744</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>拡幅工事</td> <td>200</td> <td>1,000</td> <td>144</td> <td>619</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>夜間工事</td> <td>200</td> <td>1,000</td> <td>144</td> <td>619</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>夜間拡幅工事</td> <td>160</td> <td>800</td> <td>115</td> <td>495</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">施工幅区分</td> <td rowspan="2">現場条件</td> <td colspan="2">敷均し (一層当り能力)</td> <td colspan="2">転圧 (一層当り能力)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>(m<sup>3</sup>/人・日)</td> <td>(m<sup>3</sup>/人・日)</td> <td>(m<sup>2</sup>/h)</td> <td>(m<sup>2</sup>/日)</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1m以上 2.5m未満</td> <td>標準工事</td> <td>2.5m<sup>3</sup>/人・日</td> <td></td> <td>173</td> <td>744</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>拡幅工事</td> <td>2m<sup>3</sup>/人・日</td> <td></td> <td>144</td> <td>619</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>夜間工事</td> <td>2m<sup>3</sup>/人・日</td> <td></td> <td>144</td> <td>619</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>夜間拡幅工事</td> <td>1.67m<sup>3</sup>/人・日</td> <td></td> <td>115</td> <td>495</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">1m未満</td> <td>標準工事</td> <td>2.5m<sup>3</sup>/人・日</td> <td></td> <td>36</td> <td>176</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>拡幅工事</td> <td>2m<sup>3</sup>/人・日</td> <td></td> <td>30</td> <td>147</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>夜間工事</td> <td>2m<sup>3</sup>/人・日</td> <td></td> <td>30</td> <td>147</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>夜間拡幅工事</td> <td>1.67m<sup>3</sup>/人・日</td> <td></td> <td>24</td> <td>118</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> (注) 1. タイヤローラ運転質量8~20t 2. ロードローラ マカダム運転質量10~12t 3. 一層当りの最大仕上げ厚は10cm以上20cm以下とする。 一層当り能力(m <sup>2</sup> /日)：建設機械等損料表から求めたTを用いて算出。	路盤材種別	施工幅区分	現場条件	敷均し (一層当り能力)		転圧 (一層当り能力)		転圧 (一層当り能力)		(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)	(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)	(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)	砕石類・ソイルセメント	4m以上	標準工事	621	3,353	332	1,793	630	3,213	拡幅工事	518	2,797	注1 277	1,496	注2 525	2,678	夜間工事	518	2,797	注1 277	1,496	注2 525	2,678	夜間拡幅工事	414	2,236	注1 222	1,199	注2 420	2,142	2.5m以上 4m未満	標準工事	240	1,200	173	744	-		拡幅工事	200	1,000	144	619	-		夜間工事	200	1,000	144	619	-		夜間拡幅工事	160	800	115	495	-		施工幅区分	現場条件	敷均し (一層当り能力)		転圧 (一層当り能力)				(m <sup>3</sup> /人・日)	(m <sup>3</sup> /人・日)	(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)			1m以上 2.5m未満	標準工事	2.5m <sup>3</sup> /人・日		173	744			拡幅工事	2m <sup>3</sup> /人・日		144	619			夜間工事	2m <sup>3</sup> /人・日		144	619			夜間拡幅工事	1.67m <sup>3</sup> /人・日		115	495			1m未満	標準工事	2.5m <sup>3</sup> /人・日		36	176			拡幅工事	2m <sup>3</sup> /人・日		30	147			夜間工事	2m <sup>3</sup> /人・日		30	147			夜間拡幅工事	1.67m <sup>3</sup> /人・日		24	118				
路盤材種別	施工幅区分				現場条件	敷均し (一層当り能力)		転圧 (一層当り能力)		転圧 (一層当り能力)																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)	(m <sup>2</sup> /h)		(m <sup>2</sup> /日)	(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)																																																																																																																																																																																																																																																																																																
砕石類・ソイルセメント	4m以上	標準工事	621	3,353	332	1,793	630	3,213																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		拡幅工事	518	2,797	注1 277	1,496	注2 525	2,678																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		夜間工事	518	2,797	注1 277	1,496	注2 525	2,678																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		夜間拡幅工事	414	2,236	注1 222	1,199	注2 420	2,142																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	2.5m以上 4m未満	標準工事	240	1,200	173	744	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		拡幅工事	200	1,000	144	619	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		夜間工事	200	1,000	144	619	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		夜間拡幅工事	160	800	115	495	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	施工幅区分	現場条件	敷均し (一層当り能力)		転圧 (一層当り能力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			(m <sup>3</sup> /日)	(m <sup>3</sup> /日)	(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	1m以上 2.5m未満	標準工事	2.5 m <sup>3</sup> /日		173	744																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		拡幅工事	2 m <sup>3</sup> /日		144	619																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
夜間工事		2 m <sup>3</sup> /日		144	619																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
夜間拡幅工事		1.67 m <sup>3</sup> /日		115	495																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1m未満	標準工事	2.5 m <sup>3</sup> /日		36	176																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	拡幅工事	2 m <sup>3</sup> /日		30	147																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	夜間工事	2 m <sup>3</sup> /日		30	147																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	夜間拡幅工事	1.67 m <sup>3</sup> /日		24	118																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
路盤材種別	施工幅区分	現場条件	敷均し (一層当り能力)		転圧 (一層当り能力)		転圧 (一層当り能力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)	(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)	(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)																																																																																																																																																																																																																																																																																																
砕石類・ソイルセメント	4m以上	標準工事	621	3,353	332	1,793	630	3,213																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		拡幅工事	518	2,797	注1 277	1,496	注2 525	2,678																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		夜間工事	518	2,797	注1 277	1,496	注2 525	2,678																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		夜間拡幅工事	414	2,236	注1 222	1,199	注2 420	2,142																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	2.5m以上 4m未満	標準工事	240	1,200	173	744	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		拡幅工事	200	1,000	144	619	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		夜間工事	200	1,000	144	619	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		夜間拡幅工事	160	800	115	495	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	施工幅区分	現場条件	敷均し (一層当り能力)		転圧 (一層当り能力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
			(m <sup>3</sup> /人・日)	(m <sup>3</sup> /人・日)	(m <sup>2</sup> /h)	(m <sup>2</sup> /日)																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	1m以上 2.5m未満	標準工事	2.5m <sup>3</sup> /人・日		173	744																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		拡幅工事	2m <sup>3</sup> /人・日		144	619																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
夜間工事		2m <sup>3</sup> /人・日		144	619																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
夜間拡幅工事		1.67m <sup>3</sup> /人・日		115	495																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
1m未満	標準工事	2.5m <sup>3</sup> /人・日		36	176																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	拡幅工事	2m <sup>3</sup> /人・日		30	147																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	夜間工事	2m <sup>3</sup> /人・日		30	147																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	夜間拡幅工事	1.67m <sup>3</sup> /人・日		24	118																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
					記載の修正																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

誤	正	該当項	備考
<p>③鉄筋工（参考工種）</p> <p>鉄筋工(参考工種)は、土木工事標準積算基準書 <b>第VII編</b> 土木工事標準単価及び市場単価 第2章 市場単価を準用する。</p>	<p>③鉄筋工（参考工種）</p> <p>鉄筋工(参考工種)は、土木工事標準積算基準書 <b>第VI編</b> 土木工事標準単価及び市場単価 第2章 市場単価を準用する。</p>	<p>2-3-3</p>	<p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考																																								
<p>(3) 単価表</p> <p>1) 路床整形 施工幅 1m以上</p> <p style="text-align: right; color: blue;">100m<sup>2</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="215 284 855 371"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路床整形</td> <td></td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>100</td> <td>施工パッケージ単価</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 路床整形 施工幅 1m未満</p> <p style="text-align: right; color: blue;">1,000m<sup>2</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="215 456 855 563"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路床整形</td> <td></td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>1,000</td> <td>施工パッケージ単価</td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	路床整形		m <sup>2</sup>	100	施工パッケージ単価	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	路床整形		m <sup>2</sup>	1,000	施工パッケージ単価	<p>(3) 単価表</p> <p>1) 路床整形 施工幅 1m以上</p> <p style="text-align: right; color: red;">1,000m<sup>2</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="1122 284 1762 371"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路床整形</td> <td></td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>1,000</td> <td>施工パッケージ単価</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 路床整形 施工幅 1m未満</p> <p style="text-align: right; color: red;">100m<sup>2</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="1122 456 1762 547"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路床整形</td> <td></td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>100</td> <td>施工パッケージ単価</td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	路床整形		m <sup>2</sup>	1,000	施工パッケージ単価	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	路床整形		m <sup>2</sup>	100	施工パッケージ単価	<p>3-2-4</p>	<p style="color: red;">記載の修正</p>
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																							
路床整形		m <sup>2</sup>	100	施工パッケージ単価																																							
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																							
路床整形		m <sup>2</sup>	1,000	施工パッケージ単価																																							
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																							
路床整形		m <sup>2</sup>	1,000	施工パッケージ単価																																							
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																							
路床整形		m <sup>2</sup>	100	施工パッケージ単価																																							



誤	正	該当項	備考																														
<p>2-3 養生                      コンクリート舗装の養生方法は、施工の季節、場所等によっても多少変化しますが、初期養生と後期養生に区分して行う。</p> <p>(1) 初期養生</p> <table border="1" data-bbox="159 344 907 501"> <thead> <tr> <th>方式</th> <th>方法</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋根養生</td> <td>コンクリート打込みの初期に屋根養生を行い、直射日光、風雨にさらすのを防ぐ。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニール養生</td> <td>コンクリート版表面に膜養生（ビニール）を行い、<math>0.06 \text{ kg/m}^2</math>のビニール乳剤原液を散布する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 後期養生</p> <table border="1" data-bbox="159 560 907 652"> <thead> <tr> <th>方式</th> <th>方法</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給湿養生 マット</td> <td>初期養生のあと、マットをコンクリート表面に広げ、<math>1 \text{ l/m}^2</math>当りの水を1日2回散布する。</td> <td>コンクリートの表面が露出しないこと。</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 作業能力の算定                      3-1 舗設                      (1) コンクリートフィニッシャ作業能力の算定                      1) 鉄網入りコンクリート舗装の場合                      (レディーミクストコンクリートの場合)  <math>A = W \cdot V \cdot E</math> (整数止めとし、小数第1位を四捨五入する)                      A：コンクリートフィニッシャ 1時間当りの舗設面積 (<math>\text{m}^2</math>)                      W：舗設施工幅 (m)                      V：コンクリートフィニッシャの作業速度 (<math>\text{m/h}</math>)  <math>V = 22 \text{ m/h}</math>                      E：作業効率 ※0.6                      ※ただし、拡幅工事及び夜間工事等、標準により難しい場合は<math>0.0 \sim 0.2</math>の範囲内で減ずることができる。</p> <p>(2) コンクリート簡易上機作業能力の算定                      1) 舗設厚 30 cm以下 <math>250 \text{ m}^2/\text{日}</math> (2回仕上げ)                      2) 舗設厚 30 cmを超える場合 <math>125 \text{ m}^2/\text{日}</math> (2回仕上げ)</p> <p>(3) コンクリートスプレッダ、コンクリートレベラ、インナーパイプレータ、振動目地切機の作業能力はコンクリートフィニッシャと同一とする。</p>	方式	方法	摘要	屋根養生	コンクリート打込みの初期に屋根養生を行い、直射日光、風雨にさらすのを防ぐ。		ビニール養生	コンクリート版表面に膜養生（ビニール）を行い、 $0.06 \text{ kg/m}^2$ のビニール乳剤原液を散布する。		方式	方法	摘要	給湿養生 マット	初期養生のあと、マットをコンクリート表面に広げ、 $1 \text{ l/m}^2$ 当りの水を1日2回散布する。	コンクリートの表面が露出しないこと。	<p>2-3 養生                      コンクリート舗装の養生方法は、施工の季節、場所等によっても多少変化しますが、初期養生と後期養生に区分して行う。</p> <p>(1) 初期養生</p> <table border="1" data-bbox="1068 344 1816 501"> <thead> <tr> <th>方式</th> <th>方法</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋根養生</td> <td>コンクリート打込みの初期に屋根養生を行い、直射日光、風雨にさらすのを防ぐ。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニール養生</td> <td>コンクリート版表面に膜養生（ビニール）を行い、<math>0.06 \text{ kg/m}^2</math>のビニール乳剤原液を散布する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 後期養生</p> <table border="1" data-bbox="1068 560 1816 678"> <thead> <tr> <th>方式</th> <th>方法</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給湿養生 マット</td> <td>初期養生のあと、マットをコンクリート表面に広げ、<math>1 \text{ l/m}^2</math>当りの水を1日2回散布する。</td> <td>コンクリートの表面が露出しないこと。                      マットが常にぬれていること。</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 作業能力の算定                      3-1 舗設                      (1) コンクリートフィニッシャ作業能力の算定                      1) 鉄網入りコンクリート舗装の場合                      (レディーミクストコンクリートの場合)  <math>A = W \cdot V \cdot E</math> (整数止めとし、小数第1位を四捨五入する)                      A：コンクリートフィニッシャ 1時間当りの舗設面積 (<math>\text{m}^2</math>)                      W：舗設施工幅 (m)                      V：コンクリートフィニッシャの作業速度 (<math>\text{m/h}</math>)  <math>V = 22 \text{ m/h}</math>                      E：作業効率 ※0.6                      ※ただし、拡幅工事及び夜間工事等、標準により難しい場合は<math>0.0 \sim 0.2</math>の範囲内で減ずることができる。</p> <p>(2) コンクリート簡易上機作業能力の算定                      1) 舗設厚 30 cm以下 <math>250 \text{ m}^2/\text{日}</math> (2回仕上げ)                      2) 舗設厚 30 cmを超える場合 <math>125 \text{ m}^2/\text{日}</math> (2回仕上げ)</p> <p>(3) コンクリートスプレッダ、コンクリートレベラ、インナーパイプレータ、振動目地切機の作業能力はコンクリートフィニッシャと同一とする。</p>	方式	方法	摘要	屋根養生	コンクリート打込みの初期に屋根養生を行い、直射日光、風雨にさらすのを防ぐ。		ビニール養生	コンクリート版表面に膜養生（ビニール）を行い、 $0.06 \text{ kg/m}^2$ のビニール乳剤原液を散布する。		方式	方法	摘要	給湿養生 マット	初期養生のあと、マットをコンクリート表面に広げ、 $1 \text{ l/m}^2$ 当りの水を1日2回散布する。	コンクリートの表面が露出しないこと。 マットが常にぬれていること。	<p>3-2-19</p>	<p>記載の修正</p>
方式	方法	摘要																															
屋根養生	コンクリート打込みの初期に屋根養生を行い、直射日光、風雨にさらすのを防ぐ。																																
ビニール養生	コンクリート版表面に膜養生（ビニール）を行い、 $0.06 \text{ kg/m}^2$ のビニール乳剤原液を散布する。																																
方式	方法	摘要																															
給湿養生 マット	初期養生のあと、マットをコンクリート表面に広げ、 $1 \text{ l/m}^2$ 当りの水を1日2回散布する。	コンクリートの表面が露出しないこと。																															
方式	方法	摘要																															
屋根養生	コンクリート打込みの初期に屋根養生を行い、直射日光、風雨にさらすのを防ぐ。																																
ビニール養生	コンクリート版表面に膜養生（ビニール）を行い、 $0.06 \text{ kg/m}^2$ のビニール乳剤原液を散布する。																																
方式	方法	摘要																															
給湿養生 マット	初期養生のあと、マットをコンクリート表面に広げ、 $1 \text{ l/m}^2$ 当りの水を1日2回散布する。	コンクリートの表面が露出しないこと。 マットが常にぬれていること。																															

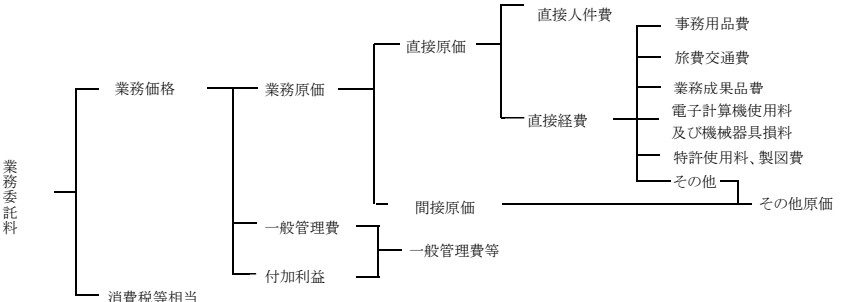
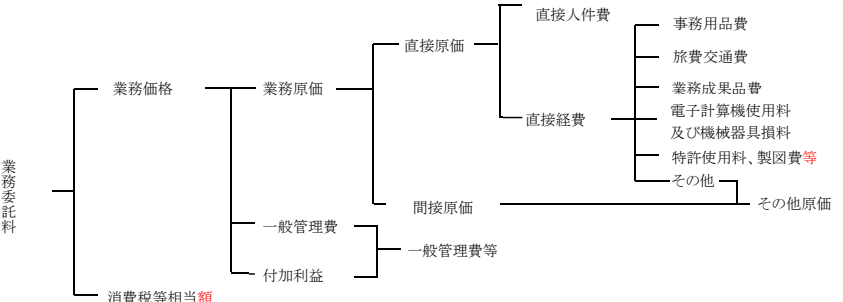
誤	正	該当項	備考																																																								
<p>2. マーキング消去工</p> <p>2-1 適用範囲 空港基本施設（滑走路、誘導路、エプロン）の路面標識の塗装を消去する場合に適用する。</p> <p>2-2 数量計算等 (1) 計算区分 マーキング消去工の数量計算は、舗装区分、施工場所等に区分して算出する。</p> <p>2-3 施工方式 マーキング消去の施工箇所における標準的な工法は、以下のとおりとする。 ただし、アスファルト舗装のマーキング消去について、現場条件に制約がある場合は下表を標準に選定する。</p> <div data-bbox="197 619 931 788" data-label="Diagram"> <pre> graph LR     A[消去工法] --&gt; B[アスファルト舗]     A --&gt; C[コンクリート舗装]     B --&gt; D[削取工法(ハンドガイド式)]     B --&gt; E[ウォータージェット工法]     C --&gt; F[削取工法(ハンドガイド式)]     </pre> </div> <table border="1" data-bbox="107 879 960 1195"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">条件区分</th> <th colspan="2">標準的な工法</th> </tr> <tr> <th>W J工法</th> <th>削取工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">現場条件</td> <td>1. グルーピング箇所等の空隙部や凹凸箇所に塗布された路面標識の除去が含まれる場合</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2. 粉塵や騒音等に考慮が必要な場合</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3. 施工時間が極端に短いなど特別な配慮が必要な場合</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>4. 排水性舗装の場合</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5. 上塗りによりペイントが厚い場合</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6. 経年劣化によりペイントが痛んでいる場合</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>7. 著しく気温が低い場合</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表中の○印を標準適用工法とし、△印については現場の条件により選択可能な工法とする。 2. 大規模な改修が必要な場合など特殊な事例の場合は、別途考慮する。 3. コンクリート舗装でウォータージェット工法を選定する場合は、見積による。</p>	条件区分		標準的な工法		W J工法	削取工法	現場条件	1. グルーピング箇所等の空隙部や凹凸箇所に塗布された路面標識の除去が含まれる場合	○	—	2. 粉塵や騒音等に考慮が必要な場合	○	—	3. 施工時間が極端に短いなど特別な配慮が必要な場合	△	△	4. 排水性舗装の場合	○	—	5. 上塗りによりペイントが厚い場合	△	○	6. 経年劣化によりペイントが痛んでいる場合	△	○	7. 著しく気温が低い場合	△	○	<p>2. マーキング消去工</p> <p>2-1 適用範囲 空港基本施設（滑走路、誘導路、エプロン）の路面標識の塗装を消去する場合に適用する。</p> <p>2-2 数量計算等 (1) 計算区分 マーキング消去工の数量計算は、舗装区分、施工場所等に区分して算出する。</p> <p>2-3 施工方式 マーキング消去の施工箇所における標準的な工法は、以下のとおりとする。 ただし、アスファルト舗装のマーキング消去について、現場条件に制約がある場合は下表を標準に選定する。</p> <div data-bbox="1102 619 1836 788" data-label="Diagram"> <pre> graph LR     A[消去工法] --&gt; B[アスファルト舗装]     A --&gt; C[コンクリート舗装]     B --&gt; D[削取工法(ハンドガイド式)]     B --&gt; E[ウォータージェット工法]     C --&gt; F[削取工法(ハンドガイド式)]     </pre> </div> <table border="1" data-bbox="1016 879 1870 1195"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">条件区分</th> <th colspan="2">標準的な工法</th> </tr> <tr> <th>W J工法</th> <th>削取工法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">現場条件</td> <td>1. グルーピング箇所等の空隙部や凹凸箇所に塗布された路面標識の除去が含まれる場合</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2. 粉塵や騒音等に考慮が必要な場合</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>3. 施工時間が極端に短いなど特別な配慮が必要な場合</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>4. 排水性舗装の場合</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>5. 上塗りによりペイントが厚い場合</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>6. 経年劣化によりペイントが痛んでいる場合</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>7. 著しく気温が低い場合</td> <td>△</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表中の○印を標準適用工法とし、△印については現場の条件により選択可能な工法とする。 2. 大規模な改修が必要な場合など特殊な事例の場合は、別途考慮する。 3. コンクリート舗装でウォータージェット工法を選定する場合は、見積による。</p>	条件区分		標準的な工法		W J工法	削取工法	現場条件	1. グルーピング箇所等の空隙部や凹凸箇所に塗布された路面標識の除去が含まれる場合	○	—	2. 粉塵や騒音等に考慮が必要な場合	○	—	3. 施工時間が極端に短いなど特別な配慮が必要な場合	△	△	4. 排水性舗装の場合	○	—	5. 上塗りによりペイントが厚い場合	△	○	6. 経年劣化によりペイントが痛んでいる場合	△	○	7. 著しく気温が低い場合	△	○	<p>3-2-56</p>	<p>記載の修正</p>
条件区分			標準的な工法																																																								
		W J工法	削取工法																																																								
現場条件	1. グルーピング箇所等の空隙部や凹凸箇所に塗布された路面標識の除去が含まれる場合	○	—																																																								
	2. 粉塵や騒音等に考慮が必要な場合	○	—																																																								
	3. 施工時間が極端に短いなど特別な配慮が必要な場合	△	△																																																								
	4. 排水性舗装の場合	○	—																																																								
	5. 上塗りによりペイントが厚い場合	△	○																																																								
	6. 経年劣化によりペイントが痛んでいる場合	△	○																																																								
	7. 著しく気温が低い場合	△	○																																																								
条件区分		標準的な工法																																																									
		W J工法	削取工法																																																								
現場条件	1. グルーピング箇所等の空隙部や凹凸箇所に塗布された路面標識の除去が含まれる場合	○	—																																																								
	2. 粉塵や騒音等に考慮が必要な場合	○	—																																																								
	3. 施工時間が極端に短いなど特別な配慮が必要な場合	△	△																																																								
	4. 排水性舗装の場合	○	—																																																								
	5. 上塗りによりペイントが厚い場合	△	○																																																								
	6. 経年劣化によりペイントが痛んでいる場合	△	○																																																								
	7. 著しく気温が低い場合	△	○																																																								

誤	正	該当項	備考
<p>④ 透水性アスファルト舗装工</p> <p>透水性アスファルト舗装工は、土木工事標準積算基準書 第IV編 道路 第1章 舗装工 ③ 透水性アスファルト舗装工を準用する。</p>	<p>④ 透水性アスファルト舗装工</p> <p>透水性アスファルト舗装工は、土木工事標準積算基準書 第IV編 道路 第1章 舗装工 ③-2 透水性アスファルト舗装工を準用する。</p>	<p>3-3-5</p>	<p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考
<p>⑥ 区画線工</p> <p>区画線工は、<a href="#">土木工事標準単価</a>は、土木工事標準積算基準書 <a href="#">第VII編</a> 土木工事標準単価及び市場単価 第1章 土木工事標準単価を準用する。</p>	<p>⑥ 区画線工</p> <p>区画線工は、土木工事標準積算基準書 <a href="#">第VI編</a> 土木工事標準単価及び市場単価 第1章 土木工事標準単価を準用する。</p>	<p>3-3-7</p>	<p>記載の修正</p>

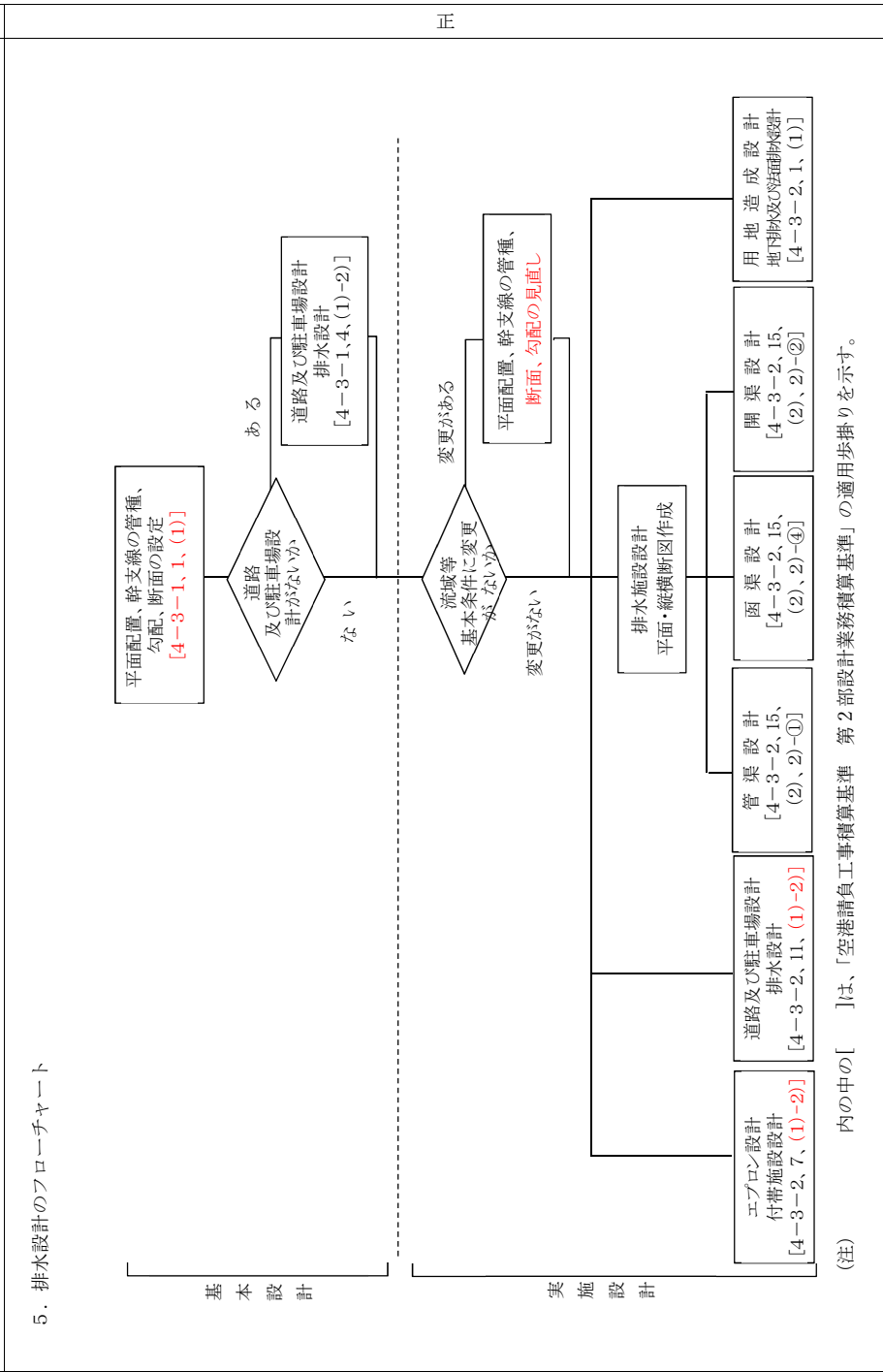
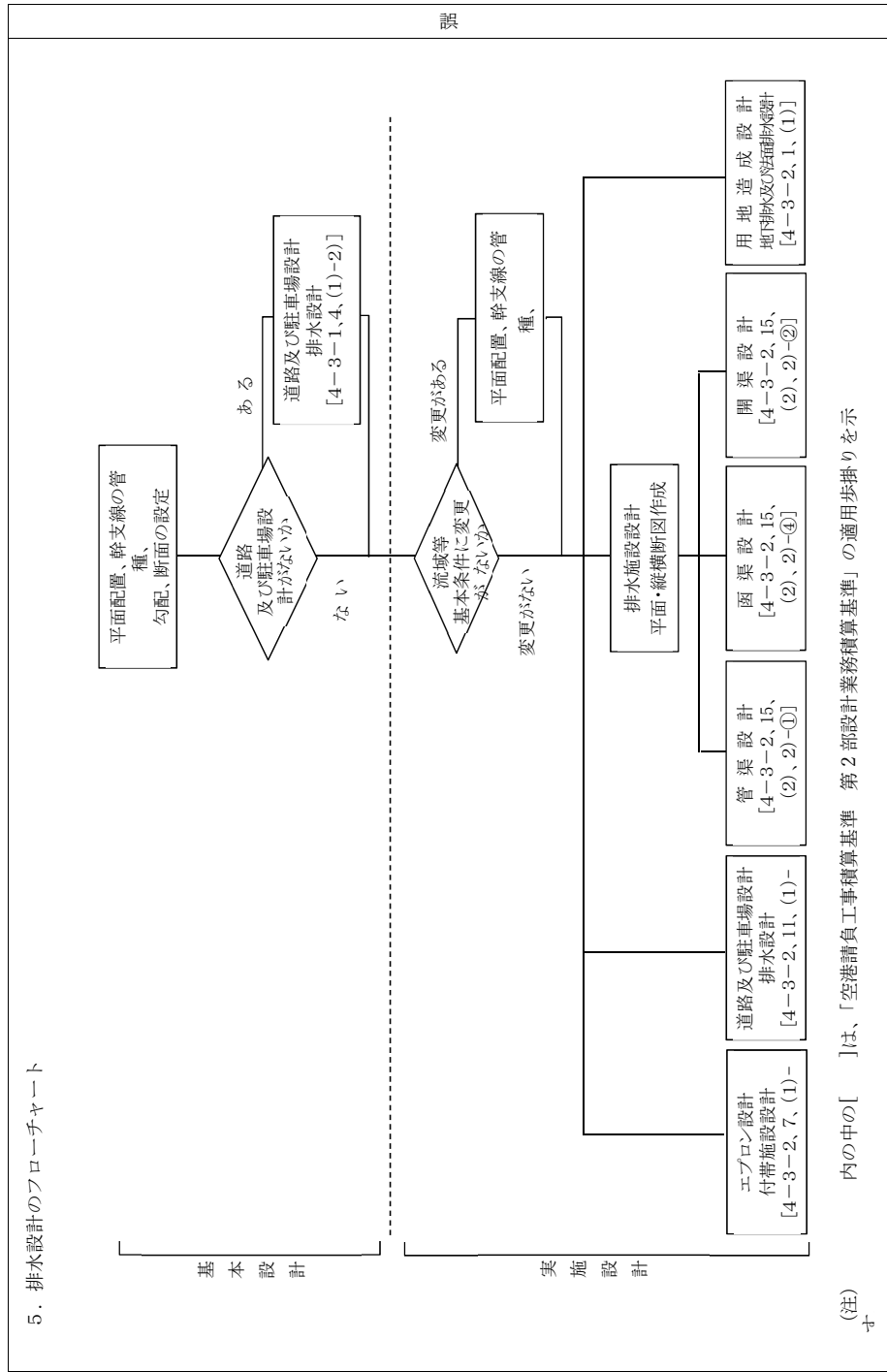


誤	正	該当項	備考												
<p>(2) 待機稼働日の補償費 待機稼働とは除雪作業員が除雪基地に除雪作業のため待機させ、除雪作業を実施したことをいう。</p> $Wk_2 = ((P \times n) / 8) \times ((6 / 10) \times 8 \times D_2 - \alpha \times H_k)$ <p>待機稼働日の補償費の算定は、以下の通りとする。  <math>Wk_2</math> : 運転手、助手、世話役の待機補償費  <math>P</math> : 運転手、助手、世話役の労務単価 (除雪手当を除く)  <math>n</math> : 運転手、助手、世話役の待機人員  <math>D_2</math> : 待機稼働 <math>\beta</math> 時間未満の延日数 (延待機台数)  <math>H_k</math> : 待機稼働 <math>\beta</math> 時間未満の延稼働時間</p> <p><math>\alpha = 8 / T</math> (小数第2位を四捨五入し、第1位とする)  <math>\beta = T \times 0.6</math> (小数第2位を四捨五入し、第1位とする)</p> <p><math>T</math> : 除雪機材等の1日当り運転時間  <math>\beta</math> : 除雪作業における労務費について、基準日額の60%を補償するもの。  (待機稼働で、<math>\beta</math>時間以上稼働した場合、待機補償は計上しない)</p> <p>4. 運転労務の算定  4-1 運転手、助手  運転手、助手の機械運転1時間当り労務は、次式による。</p> $\text{歩掛} = 1 / T \text{ (人/h) (小数第3位を四捨五入し、第2位とする)}$ <p>4-2 世話役  世話役の労務は、運転手の1/5とする。</p> <p>5. 施工歩掛  5-1 人力除雪  人力除雪の歩掛は、下表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 人力除雪 <span style="float: right;">人/10 m<sup>2</sup></span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">労務</th> <th style="width: 33%;">歩道部</th> <th style="width: 33%;">灯器周り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">0.01</td> <td style="text-align: center;">0.1</td> </tr> </tbody> </table>	労務	歩道部	灯器周り	普通作業員	0.01	0.1	<p>(2) 待機稼働日の補償費 待機稼働とは除雪作業員が除雪基地に除雪作業のため待機させ、除雪作業を実施したことをいう。</p> $Wk_2 = ((P \times n) / 8) \times ((6 / 10) \times 8 \times D_2 - \alpha \times H_k)$ <p>待機稼働日の補償費の算定は、以下の通りとする。  <math>Wk_2</math> : 運転手、助手、世話役の待機補償費  <math>P</math> : 運転手、助手、世話役の労務単価 (除雪手当を除く)  <math>n</math> : 運転手、助手、世話役の待機人員  <math>D_2</math> : 待機稼働 <math>\beta</math> 時間未満の延日数 (延待機台数)  <math>H_k</math> : 待機稼働 <math>\beta</math> 時間未満の延稼働時間</p> <p><math>\alpha = 8 / T</math> (小数第2位を四捨五入し、第1位とする。)  <math>\beta = T \times 0.6</math> (小数第2位を四捨五入し、第1位とする。)</p> <p><math>T</math> : 除雪機材等の1日当り運転時間  <math>\beta</math> : 除雪作業における労務費について、基準日額の60%を補償するもの。  (待機稼働で、<math>\beta</math>時間以上稼働した場合、待機補償は計上しない)</p> <p>4. 運転労務の算定  4-1 運転手、助手  運転手、助手の機械運転1時間当り労務は、次式による。</p> $\text{歩掛} = 1 / T \text{ (人/h) (小数第3位を四捨五入し、第2位とする。)}$ <p>4-2 世話役  世話役の労務は、運転手の1/5とする。</p> <p>5. 施工歩掛  5-1 人力除雪  人力除雪の歩掛は、下表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表5.1 人力除雪 <span style="float: right;">人/10 m<sup>2</sup></span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">労務</th> <th style="width: 33%;">歩道部</th> <th style="width: 33%;">灯器周り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作業員</td> <td style="text-align: center;">0.01</td> <td style="text-align: center;">0.1</td> </tr> </tbody> </table>	労務	歩道部	灯器周り	普通作業員	0.01	0.1	<p>3-4-25</p>	<p style="color: red;">記載の修正</p> <p style="color: red;">記載の修正</p>
労務	歩道部	灯器周り													
普通作業員	0.01	0.1													
労務	歩道部	灯器周り													
普通作業員	0.01	0.1													

誤	正	該当項	備考
<p>第1節 総則</p> <p>1-1 適用範囲 この積算基準は、空港土木事業に係る設計業務等に適用する。</p> <p>第2節 業務委託料</p> <p>2-1 業務委託料の構成</p>  <p>2-2 業務委託料構成費目の内容</p> <p>(1) 直接原価</p> <p>1) 直接人件費は、業務処理に従事する技術者の人件費とする。 ※夜間業務の労務単価は、割増対象賃金比、割増し係数、割増し時間を考慮して積算する。なお、時間的制約がある場合については、工事に準ずるものとする。</p> <p>2) 直接経費 直接経費は、業務処理に必要な経費のうち次の①から⑤までに掲げるものとする。 ①事務用品費（直接人件費の1.0%を標準とする。ただし、事前協議、報告及び照査の直接人件費は除く） ②旅費交通費 ③業務成果品費 ④電子計算機使用料及び機械器具損料 ⑤特許使用料、製図費等 ※これ以外の経費については、その他原価として計上する。</p> <p>(2) その他原価 その他原価は、間接原価及び直接経費（積上計上するものを除く）からなる。 なお、特殊な技術計算、図面作成等の専門業に外注する場合に必要な経費、業務実績の登録等に要する費用を含む。</p> <p>1) 間接原価 当該業務担当部署の事務職員の人件費及び福利厚生費、水道光熱費等の経費とする。</p>	<p>第1節 総則</p> <p>1-1 適用範囲 この積算基準は、空港土木事業に係る設計業務等に適用する。</p> <p>第2節 業務委託料</p> <p>2-1 業務委託料の構成</p>  <p>2-2 業務委託料構成費目の内容</p> <p>(1) 直接原価</p> <p>1) 直接人件費は、業務処理に従事する技術者の人件費とする。 ※夜間業務の労務単価は、割増対象賃金比、割増し係数、割増し時間を考慮して積算する。なお、時間的制約がある場合については、工事に準ずるものとする。</p> <p>2) 直接経費 直接経費は、業務処理に必要な経費のうち次の①から⑤までに掲げるものとする。 ①事務用品費（直接人件費の1.0%を標準とする。ただし、事前協議、報告及び照査の直接人件費は除く） ②旅費交通費 ③業務成果品費 ④電子計算機使用料及び機械器具損料 ⑤特許使用料、製図費等 ※これ以外の経費については、その他原価として計上する。</p> <p>(2) その他原価 その他原価は、間接原価及び直接経費（積上計上するものを除く）からなる。 なお、特殊な技術計算、図面作成等の専門業に外注する場合に必要な経費、業務実績の登録等に要する費用を含む。</p> <p>1) 間接原価 当該業務担当部署の事務職員の人件費及び福利厚生費、水道光熱費等の経費とする。</p>	<p>1</p>	<p>記載の修正</p>

誤	正	該当項	備考																																																																																																																																																																										
<p>4-1-2 設計協議</p> <p>基本設計及び実施設計における設計協議の回数、人員は以下を標準とする。ただし、これによりがたい場合は、必要に応じ計上するものとする。</p> <p>1. 回数 設計協議の回数は事前協議、最終報告を含め、必要回数とする。</p> <p>2. 歩掛 (1) 設計協議1回当たり標準歩掛表 (単位：1回あたりの人)</p> <table border="1" data-bbox="219 480 884 785"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職種</th> <th colspan="5">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td>事前協議</td> <td>技師</td> <td>(A)</td> <td>(B)</td> <td>(C)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間報告</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最終報告</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td>事前協議</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間報告</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最終報告</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td>事前協議</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>中間報告</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>最終報告</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 区分1～3の業務内容は次表による。</p> <table border="1" data-bbox="219 869 795 989"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>業務内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>複雑な業務内容で高度な技術を要する設計</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>一般的な業務内容の設計</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>軽易な業務内容の設計及び数量計算業務</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-1-3 成果品及び中間報告書</p> <p>成果品及び中間報告書の費用の算定は、提出部数及び設計協議回数から、次表により積算するものとする。</p> <p>ただし、これによりがたい場合は、積上げによることができる。</p> <table border="1" data-bbox="107 1160 958 1382"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>費用の算定式</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本設計</td> <td>直接人件費×(21.6+1.2m+0.6t)×<math>\frac{1}{1,000}</math></td> <td rowspan="2">m:報告書(設計図含む) 提出部数 t:設計協議回数</td> </tr> <tr> <td>実施設計</td> <td>直接人件費×(30.5+1.9m+0.9t)×<math>\frac{1}{1,000}</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 技術検討委員会等の資料については、見積り等により別途積算する。</p>	区分	職種	直接人件費					技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	1	事前協議	技師	(A)	(B)	(C)		中間報告		1.0	1.0			最終報告	1.0	2.0				2	事前協議		1.0	1.0			中間報告		1.0	1.0			最終報告	1.0	1.0	1.0			3	事前協議			1.0		1.0	中間報告			1.0		1.0	最終報告		1.0	1.0		1.0	区分	業務内容	1	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計	2	一般的な業務内容の設計	3	軽易な業務内容の設計及び数量計算業務	区分	費用の算定式	摘要	基本設計	直接人件費×(21.6+1.2m+0.6t)× $\frac{1}{1,000}$	m:報告書(設計図含む) 提出部数 t:設計協議回数	実施設計	直接人件費×(30.5+1.9m+0.9t)× $\frac{1}{1,000}$	<p>4-1-2 設計協議</p> <p>基本設計及び実施設計における設計協議の回数、人員は以下を標準とする。ただし、これによりがたい場合は、必要に応じ計上するものとする。</p> <p>1. 回数 設計協議の回数は事前協議、最終報告を含め、必要回数とする。</p> <p>2. 歩掛 (1) 設計協議1回当たり標準歩掛表 (単位：1回あたりの人)</p> <table border="1" data-bbox="1128 480 1794 785"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">職種</th> <th colspan="5">直接人件費</th> </tr> <tr> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師(A)</th> <th>技師(B)</th> <th>技師(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td>事前協議</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間報告</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最終報告</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td>事前協議</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間報告</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最終報告</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td>事前協議</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>中間報告</td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td></td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>最終報告</td> <td></td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 区分1～3の業務内容は次表による。</p> <table border="1" data-bbox="1128 869 1704 989"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>業務内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>複雑な業務内容で高度な技術を要する設計</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>一般的な業務内容の設計</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>軽易な業務内容の設計及び数量計算業務</td> </tr> </tbody> </table> <p>4-1-3 成果品及び中間報告書</p> <p>成果品及び中間報告書の費用の算定は、提出部数及び設計協議回数から、次表により積算するものとする。</p> <p>ただし、これによりがたい場合は、積上げによることができる。</p> <table border="1" data-bbox="1014 1160 1865 1382"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>費用の算定式</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本設計</td> <td>直接人件費×(21.6+1.2m+0.6t)×<math>\frac{1}{1,000}</math></td> <td rowspan="2">m:報告書(設計図含む) 提出部数 t:設計協議回数</td> </tr> <tr> <td>実施設計</td> <td>直接人件費×(30.5+1.9m+0.9t)×<math>\frac{1}{1,000}</math></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 技術検討委員会等の資料については、見積り等により別途積算する。</p>	区分	職種	直接人件費					技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	1	事前協議	1.0	1.0				中間報告		1.0	1.0			最終報告	1.0	2.0				2	事前協議		1.0	1.0			中間報告		1.0	1.0			最終報告	1.0	1.0	1.0			3	事前協議			1.0		1.0	中間報告			1.0		1.0	最終報告		1.0	1.0		1.0	区分	業務内容	1	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計	2	一般的な業務内容の設計	3	軽易な業務内容の設計及び数量計算業務	区分	費用の算定式	摘要	基本設計	直接人件費×(21.6+1.2m+0.6t)× $\frac{1}{1,000}$	m:報告書(設計図含む) 提出部数 t:設計協議回数	実施設計	直接人件費×(30.5+1.9m+0.9t)× $\frac{1}{1,000}$	<p>12</p>	<p>記載の修正</p>
区分			職種	直接人件費																																																																																																																																																																									
	技師長	主任技師		技師(A)	技師(B)	技師(C)																																																																																																																																																																							
1	事前協議	技師	(A)	(B)	(C)																																																																																																																																																																								
	中間報告		1.0	1.0																																																																																																																																																																									
	最終報告	1.0	2.0																																																																																																																																																																										
2	事前協議		1.0	1.0																																																																																																																																																																									
	中間報告		1.0	1.0																																																																																																																																																																									
	最終報告	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																									
3	事前協議			1.0		1.0																																																																																																																																																																							
	中間報告			1.0		1.0																																																																																																																																																																							
	最終報告		1.0	1.0		1.0																																																																																																																																																																							
区分	業務内容																																																																																																																																																																												
1	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計																																																																																																																																																																												
2	一般的な業務内容の設計																																																																																																																																																																												
3	軽易な業務内容の設計及び数量計算業務																																																																																																																																																																												
区分	費用の算定式	摘要																																																																																																																																																																											
基本設計	直接人件費×(21.6+1.2m+0.6t)× $\frac{1}{1,000}$	m:報告書(設計図含む) 提出部数 t:設計協議回数																																																																																																																																																																											
実施設計	直接人件費×(30.5+1.9m+0.9t)× $\frac{1}{1,000}$																																																																																																																																																																												
区分	職種	直接人件費																																																																																																																																																																											
		技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)																																																																																																																																																																							
1	事前協議	1.0	1.0																																																																																																																																																																										
	中間報告		1.0	1.0																																																																																																																																																																									
	最終報告	1.0	2.0																																																																																																																																																																										
2	事前協議		1.0	1.0																																																																																																																																																																									
	中間報告		1.0	1.0																																																																																																																																																																									
	最終報告	1.0	1.0	1.0																																																																																																																																																																									
3	事前協議			1.0		1.0																																																																																																																																																																							
	中間報告			1.0		1.0																																																																																																																																																																							
	最終報告		1.0	1.0		1.0																																																																																																																																																																							
区分	業務内容																																																																																																																																																																												
1	複雑な業務内容で高度な技術を要する設計																																																																																																																																																																												
2	一般的な業務内容の設計																																																																																																																																																																												
3	軽易な業務内容の設計及び数量計算業務																																																																																																																																																																												
区分	費用の算定式	摘要																																																																																																																																																																											
基本設計	直接人件費×(21.6+1.2m+0.6t)× $\frac{1}{1,000}$	m:報告書(設計図含む) 提出部数 t:設計協議回数																																																																																																																																																																											
実施設計	直接人件費×(30.5+1.9m+0.9t)× $\frac{1}{1,000}$																																																																																																																																																																												





該当項	備考
参-2-5	記載の修正

誤	正	該当項	備考																																																																																																				
	<p style="text-align: center;">(5) 機械運転単価表</p> <p style="text-align: center;">1) 路面清掃車運転1時間当り</p> <table border="1" data-bbox="1052 252 1832 440"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th></th> <th>ホッパ容量 2.5~3.1m<sup>3</sup> 四輪式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手(一般)</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td></td> <td>h</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2) アスファルトディストリビュータ運転1日当り</p> <p style="text-align: right;">運転 4.3 時間</p> <table border="1" data-bbox="1052 552 1832 876"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td>ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) +トラック(普通型)</td> </tr> <tr> <td>運転手(一般)</td> <td></td> <td>人</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) タンク容量 2,000~3,000ℓ</td> <td>日</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td>トラック(普通型)4~4.5t 積</td> <td>h</td> <td>4.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ディストリビュータの運転日当り運転時間 (T) は、4.3 h / 日とする。</p> <p style="text-align: center;">3) ダンプトラック運転1時間当り</p> <table border="1" data-bbox="1052 991 1832 1203"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th></th> <th>オンロード・ディーゼル 2t 積級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主燃料</td> <td>軽油</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>運転手(一般)</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>損料</td> <td></td> <td>h</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイヤ損耗費</td> <td></td> <td>＃</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸雑費</td> <td></td> <td>式</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量		摘要		ホッパ容量 2.5~3.1m <sup>3</sup> 四輪式	主燃料	軽油	ℓ				運転手(一般)		人				損料		h		1		諸雑費		式		1		名称	形状寸法	単位	数量	摘要	主燃料	軽油	ℓ		ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) +トラック(普通型)	運転手(一般)		人	1		損料	ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) タンク容量 2,000~3,000ℓ	日	1		損料	トラック(普通型)4~4.5t 積	h	4.3		諸雑費		式	1		名称	形状寸法	単位	数量		摘要		オンロード・ディーゼル 2t 積級	主燃料	軽油	ℓ				運転手(一般)		人				損料		h		1		タイヤ損耗費		＃		1		諸雑費		式		1		参-3-24	当該項の落丁
名称	形状寸法				単位	数量		摘要																																																																																															
			ホッパ容量 2.5~3.1m <sup>3</sup> 四輪式																																																																																																				
主燃料	軽油	ℓ																																																																																																					
運転手(一般)		人																																																																																																					
損料		h		1																																																																																																			
諸雑費		式		1																																																																																																			
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																			
主燃料	軽油	ℓ		ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) +トラック(普通型)																																																																																																			
運転手(一般)		人	1																																																																																																				
損料	ディストリビュータ 自走式(トラック架装式) タンク容量 2,000~3,000ℓ	日	1																																																																																																				
損料	トラック(普通型)4~4.5t 積	h	4.3																																																																																																				
諸雑費		式	1																																																																																																				
名称	形状寸法	単位	数量		摘要																																																																																																		
				オンロード・ディーゼル 2t 積級																																																																																																			
主燃料	軽油	ℓ																																																																																																					
運転手(一般)		人																																																																																																					
損料		h		1																																																																																																			
タイヤ損耗費		＃		1																																																																																																			
諸雑費		式		1																																																																																																			